

TOTO

制御筒ユニット・パッキン(交換手順)

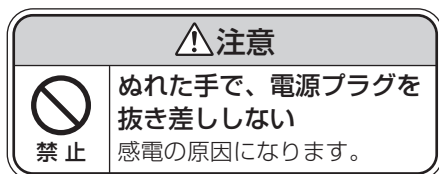
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

交換前作業（共通）

※交換前に下記 ①～③ の作業を実施してください。

① タンク内の水を流す

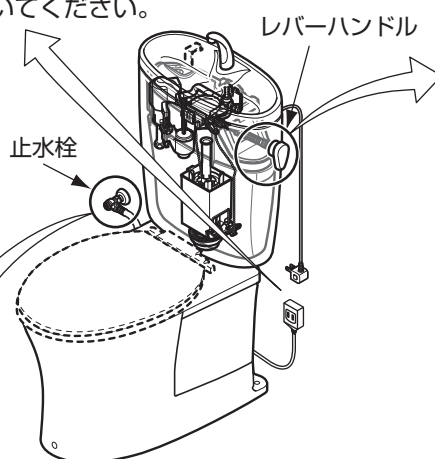
①ヒーター用プラグをコンセントから抜いてください。
(水抜き方式のみ)



⚠ 注意

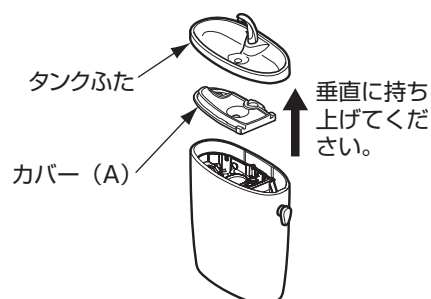
ぬれた手で、電源プラグを
抜き差ししない
感電の原因になります。

②止水栓を閉めてください。
(マイナスドライバーで
右に回す。)

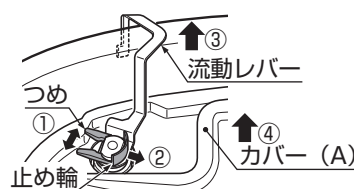


③タンク内の水を流してください。
(大の方向)
(手でハンドルを数秒間保持して)
完全に水を抜いてください。)

② タンクふたとカバー(A)を外す

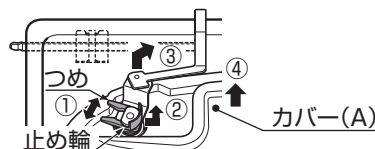


〈SH320/SH321BF系の場合〉



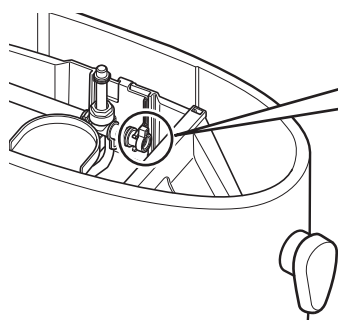
一般地の場合 水抜き方式の場合	カバー (A) を持ち上げてそのまま外 します。
流動方式の場合	※流動方式の場合は、流動レバーを 外さないと、カバー (A) が外せ ないようになっています。 ①止め輪のつめ部分を広げます。 ②止め輪をスライドさせ、外します。 ③流動レバーを外します。 ④カバー (A) を持ち上げて外します。

〈SH220/SH221BF系の場合〉



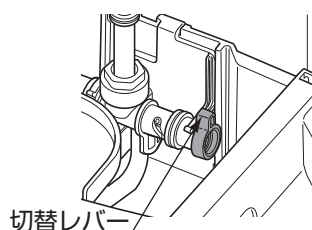
ポイント
タンクふたは落とさないように
注意する
破損してけがをするおそれがあります。

③ 切替レバーの向きを確認する

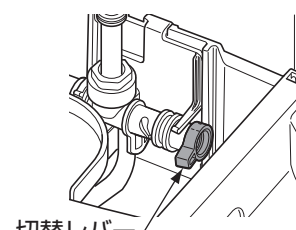


つまみが上向き (補給水なし)

つまみが前向き (補給水あり)



切替レバー



切替レバー

部品の交換後に、切替レバーの向きを交換前の状態に合わせる必要があります。

交換手順

●制御筒ユニット

④～⑦、⑨～⑫を参照してください。

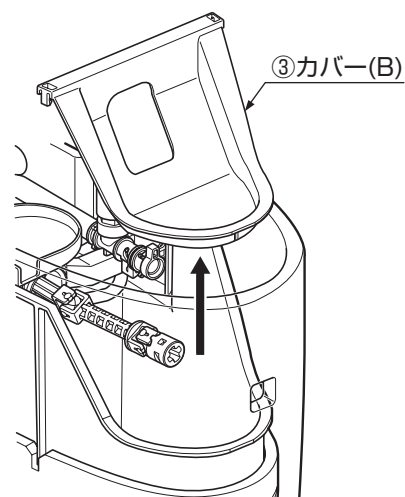
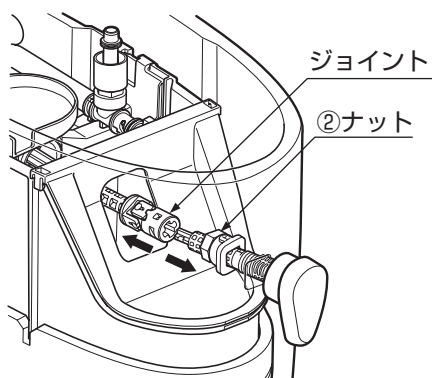
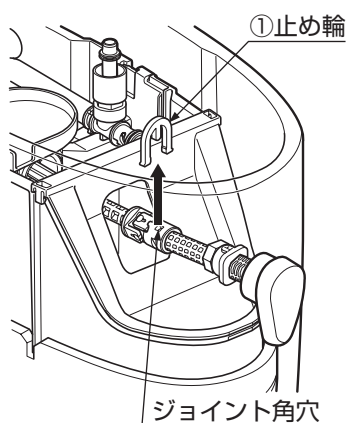
●パッキン

④～⑫を参照してください。

④ レバーハンドル部とカバー(B)を取り外す

共通

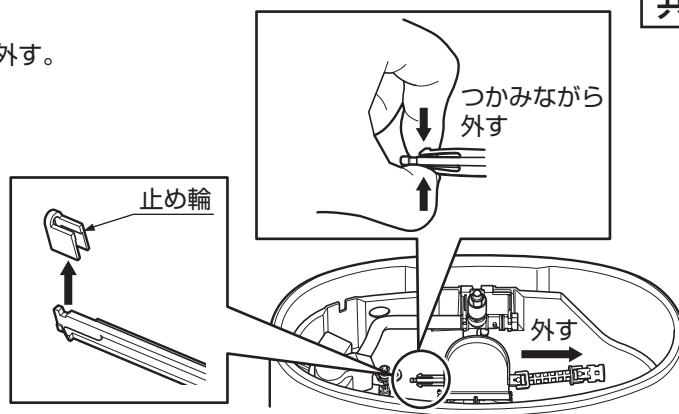
- ①レバーの止め輪を取り外す。
※止め輪を落とさないように注意してください。
- ②ナットをゆるめてレバーハンドル部を取り外す。
- ③カバー(B)を取り外す。



⑤ ジョイントユニットを外す

共通

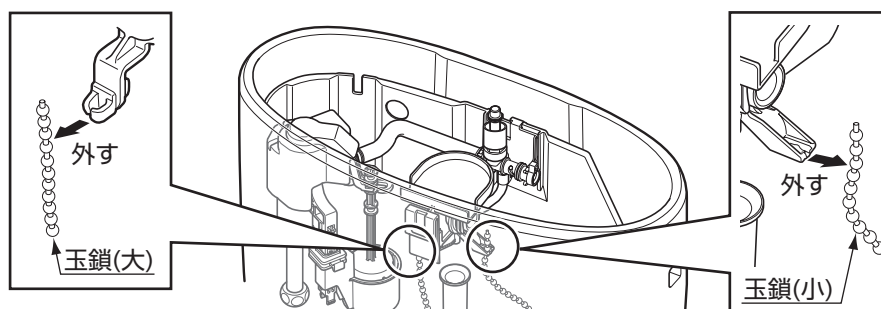
- ・排水レバーユニットからジョイントユニットを外す。
※止め輪を落とさないように注意してください。



⑥ 玉鎖 (大・小) を外す

共通

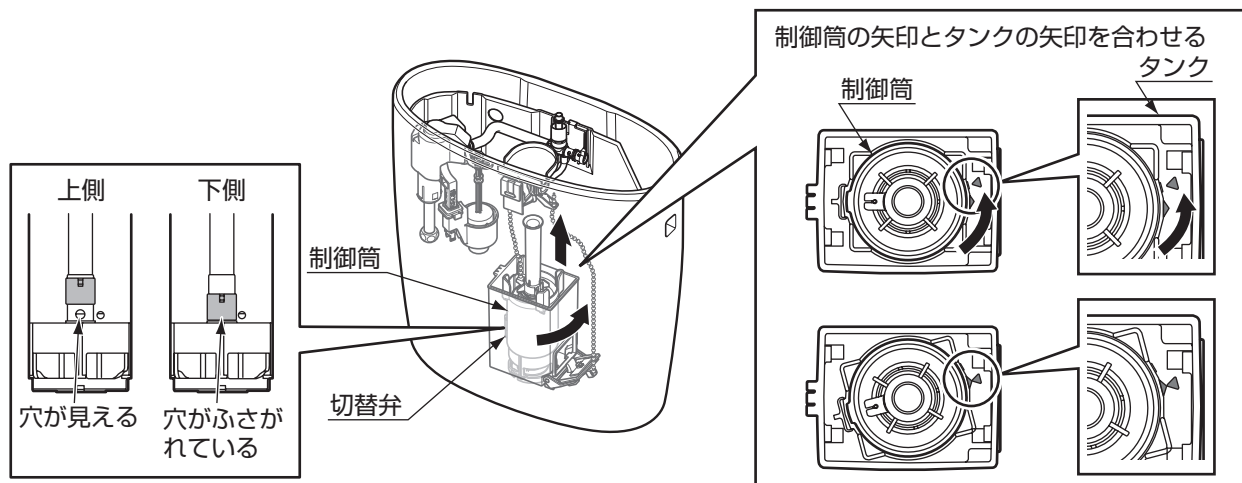
- ・排水レバーユニットから玉鎖 (大・小) を外す。



7 制御筒ユニットを取り外す

共通

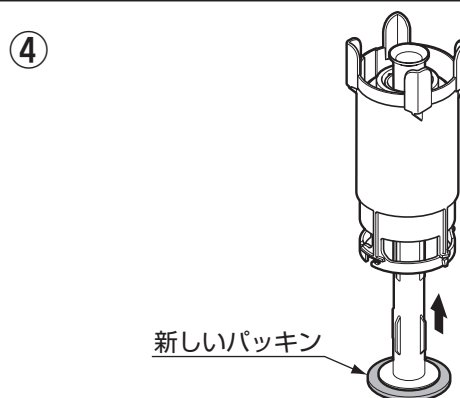
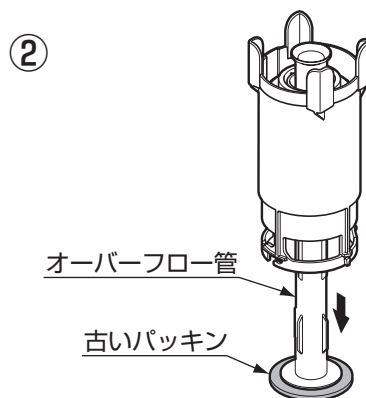
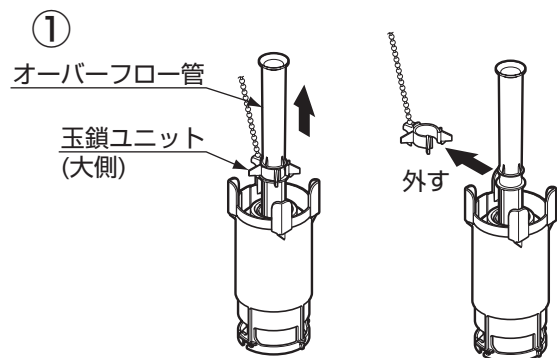
※制御筒ユニットを取り外した際、制御筒横の切替弁（上／下）の位置を確認しておいてください。



8 パッキンを交換する

パッキン

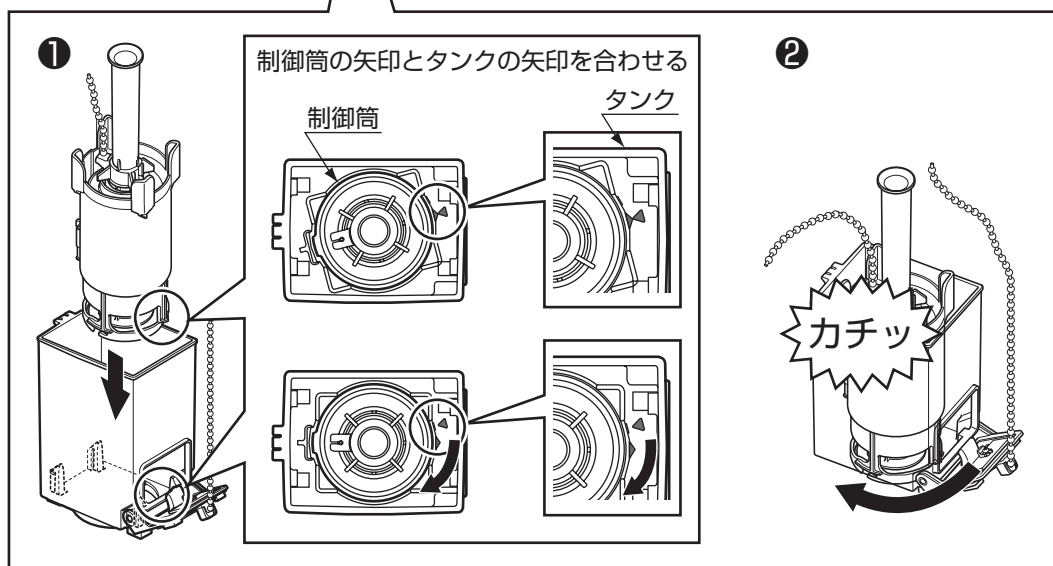
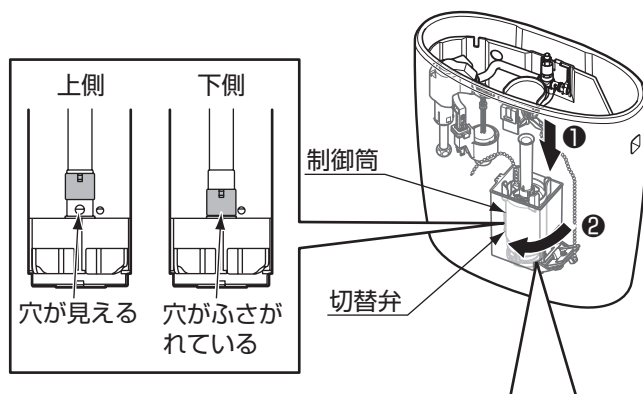
- ① オーバーフロー管から玉鎖ユニット(大側)を取り外す。
- ② オーバーフロー管を取り外す。
- ③ 古いパッキンを取り外し、新しいパッキンを取り付ける。
- ④ オーバーフロー管を戻し、玉鎖ユニット(大側)を取り付ける。



9 制御筒ユニットを取り付ける

共通

※制御筒ユニットを取り付ける際、制御筒横の切替弁(上／下)の位置を元の位置に合わせてから取り付けてください。



10 玉鎖（大・小）を取り付ける

共通

※玉鎖（大・小）の取付位置を間違えないように注意してください。

⚠注意

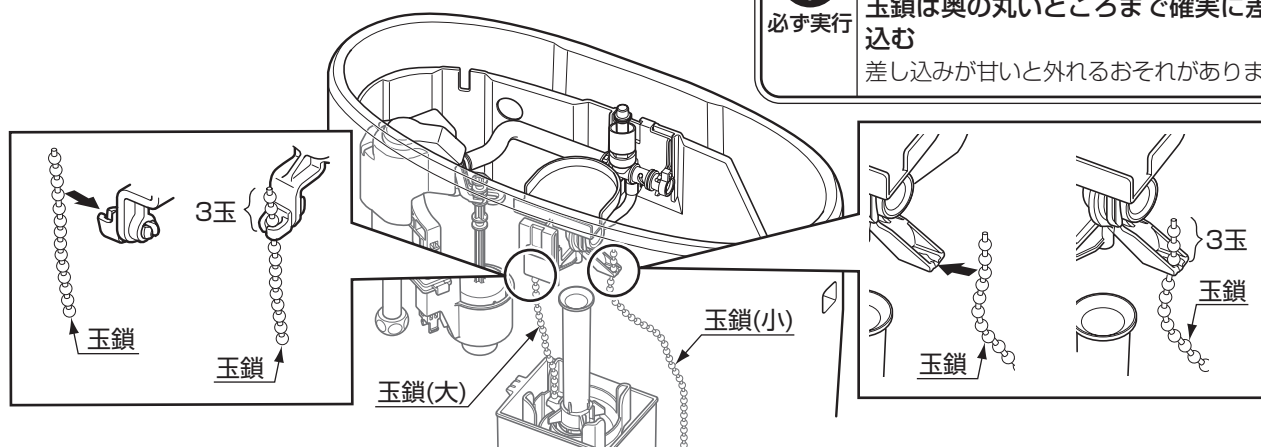
玉鎖は必ず3玉余らせて取り付ける
止水不良や洗浄不良が発生するおそれがあります。



必ず実行

玉鎖は奥の丸いところまで確実に差し込む

差し込みが甘いと外れるおそれがあります。



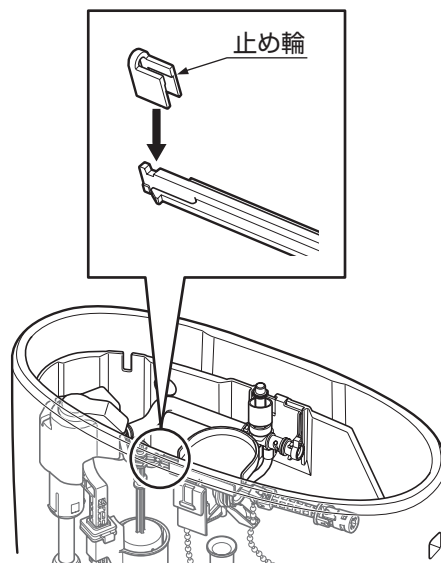
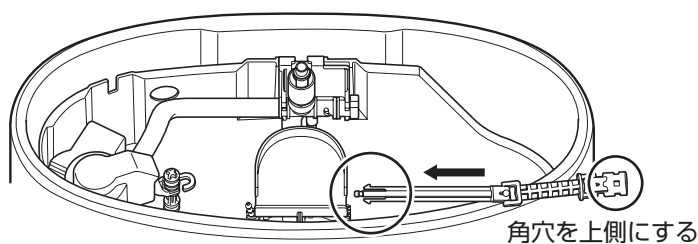
11 ジョイントユニットを取り付ける

共通

- ・ ⑤ と逆の手順で取り付ける。

※ジョイントの向きに注意して取り付けてください。
ジョイントは穴部分が上向きになります。

※カバー(B)は確実にハマっていることを確認してください。



12 レバーハンドル部とカバー(B)を取り付ける

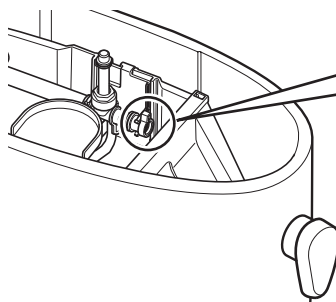
共通

- ・ ④ の①～③と逆の手順で取り付ける。

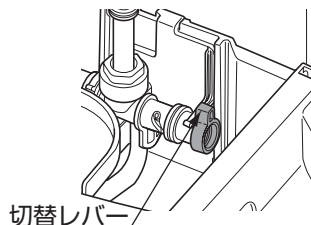
交換後作業

※交換後に下記 ⑬ ～ ⑮ の作業を実施してください。

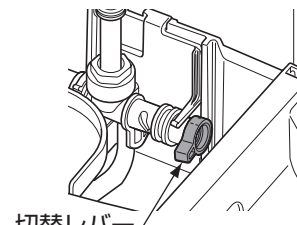
13 切替レバーの向きを確認し、交換前の状態に合わせる



つまみが上向き（補給水なし）

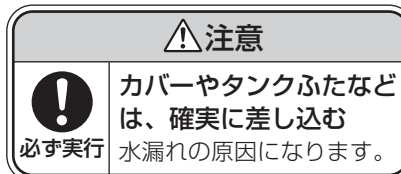
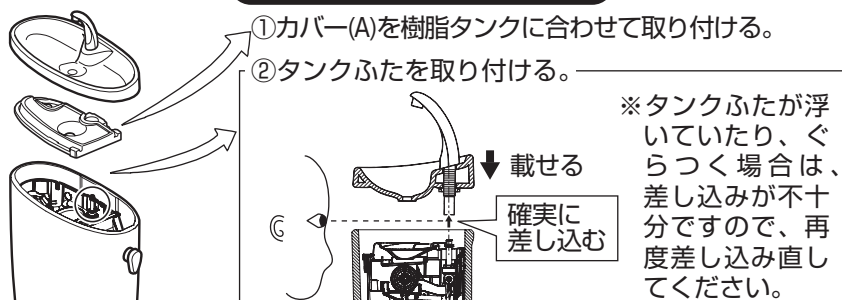


つまみが前向き（補給水あり）



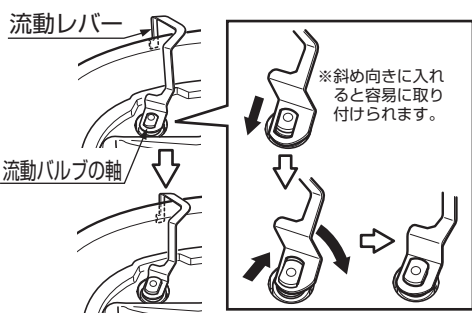
14 カバー(A)とタンクふたを元に戻す

一般地／水抜き方式の場合

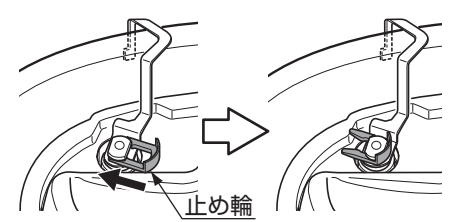


流動方式〈SH320/SH321BF系の場合〉

- ①カバー(A)を樹脂タンクに合わせて取り付け。
- ②流動バルブの軸に流動レバーを取り付ける。



- ③止め輪をスライドさせ、固定する。

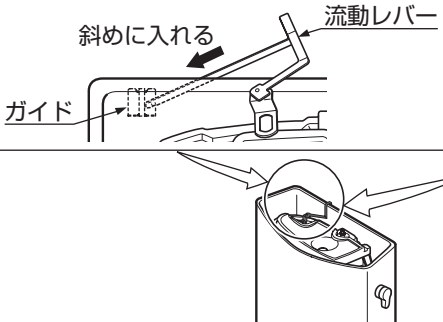


- ④タンクふたを取り付ける。

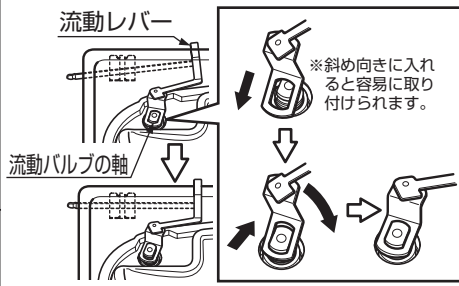
流動方式〈SH220/SH221BF系の場合〉

- ①カバー(A)を樹脂タンクに合わせて取り付け。

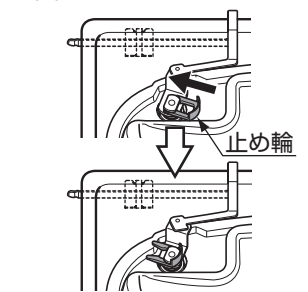
- ②ガイドに流動レバーを通す。



- ③流動バルブの軸に流動レバーを取り付ける。



- ④止め輪をスライドさせ、固定する。



- ⑤タンクふたを取り付ける。

15 取り付け完了後の確認をする

- ・止水栓を開け、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ・水の出方が悪いときは、取扱説明書（お客様保管）“給水フィルターの掃除”を参照して掃除を行う。
- ・凍結のおそれがある場合は、取扱説明書（お客様保管）の凍結予防方法に従って凍結予防を行う。